

横浜能楽堂特別公演

平成29年5月20日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

狂言

# 「舟渡賀」

(和泉流)

野村 萬

能

# 「江口」

(観世流)

浅見真州

チケット料金：S席7,000円/A席6,000円/B席5,000円

チケット発売：平成29年2月11日(土・祝) 正午から(初日は電話・Webのみ)

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません。

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

電話 045・263・3055

Web : <http://www.ynt.ycf.or.jp>

主催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

番組

狂言 「舟渡髻」 (和泉流)  
 シテ (船頭) 野村 萬  
 アド (髻) 野村万之丞  
 小アド (船頭の妻) 野村 万蔵  
 後見 河野 佑紀



狂言「舟渡髻」(ふなわたしむこ)  
 髻が土産の酒を持って、髻入り（結婚後に初めて夫が妻の実家に挨拶に行く儀式）に出かけます。途中で渡し舟に乗った髻は、船頭に酒を振る舞うよう迫られてしまいます。もちろん髻は断りますが、船頭に脅されたので仕方なく酒を振る舞うことにします。ところが船頭が杯を重ねてしまい、酒は残り少なくなってしまいます。舟を降りた髻は舅と対面することになりますが・・・。

能 「江口」 (観世流)

シテ (里女・江口の君) 浅見 真州  
 ツレ (遊女) 浅見 慈一  
 ツレ (遊女) 長山 桂三  
 ワキ (旅僧) 殿田 謙吉  
 ワキツレ (従僧) 大日方 寛  
 ワキツレ (従僧) 野口 能弘  
 アイ (里人) 能村 晶人  
 笛 藤田六郎兵衛  
 小鼓 曾和 正博  
 大鼓 白坂 信行  
 後見 観世 恭秀  
 谷本 健吾  
 地謡 浅井 文義 岡 久広  
 小早川 修 馬野 正基  
 北浪 貴裕 安藤 貴康  
 小早川泰輝 観世 淳夫



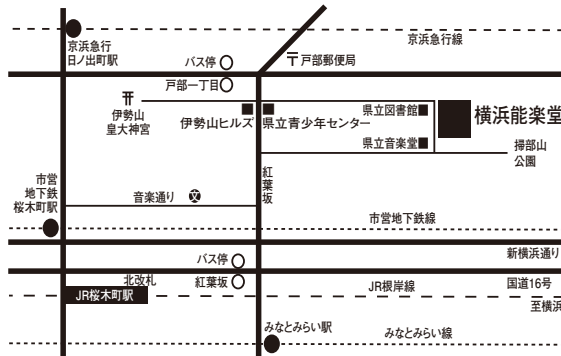
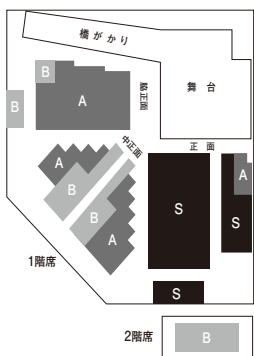
能「江口」(えぐち)  
 旅の僧が天王寺に向かう途中、淀川のほとりにある江口の里に立寄ります。所の者に遊女・江口の君の旧跡について教えられた僧が、この地で江口の君に雨宿りを断られた西行法師が詠んだ歌を口ずさんでいると、一人の女が現れ、江口の君の返歌を引き、宿を貸さなかった真意を語ります。女は江口の君の霊でした。  
 やがて月の澄み渡る川面に遊女たちの舟遊びの光景が見えてきます。江口の君は遊女の身のはかなさや世の無常を語り舞うと、その姿を普賢菩薩へと変じ、西の空へと去っていくのでした。  
 中世の仏教観が伺える宗教的崇高さと鬘物の美しさが見事に調和した秋の名曲です。



浅見真州 (あさみまさくに)  
 シテ方観世流。1941年浅見真健の五男として生まれる。幼少期は父に師事、その後観世寿夫の薫陶を受ける。2005年芸術選奨文部科学大臣賞はじめ受賞多数、05年紫綬褒章、11年旭日小綬章受章、重要無形文化財総合指定保持者。



野村萬 (のむらまん)  
 狂言方和泉流。1930年六世野村万蔵の長男として生まれる。父に師事。86年度日本芸術院賞受賞をはじめ受賞多数。94年紫綬褒章受章。08年度文化功労者。芸術院会員。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。



交通のご案内  
 ◇電車利用/JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分/みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分/京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分(タクシー利用は各駅共約5分)  
 ◇バス利用/戸部1丁目(市営バス 103 系統) 下車徒歩5分/紅葉坂(市営バス 8、26、58、89、101、105、106 系統/神奈中バス横 43、横 44、港 61 系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行、京急バス110系統) 下車徒歩10分  
 ※ 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。  
 ※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。  
 ※ 会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。  
 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘2-7-2  
 http://www.yntyaf.or.jp  
 tel.045-263-3055